

血液検査で心不全リスクがわかります

心不全ってなに？

心臓に何らかの異常があり、心臓のポンプ機能が低下して、全身の臓器が必要とする血液を十分に送り出せなくなった状態。

心不全はひとつの病気ではなく、心臓のさまざまな病気（心筋梗塞、弁膜症、心筋症など）や高血圧などにより負担がかかった状態が最終的に至る“症候群”のこと。



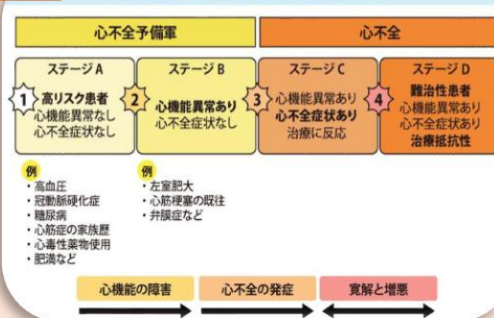
心不全は予後が悪い！？

5年生存率は約50%と予後が悪い
ステージ毎の生存率↓

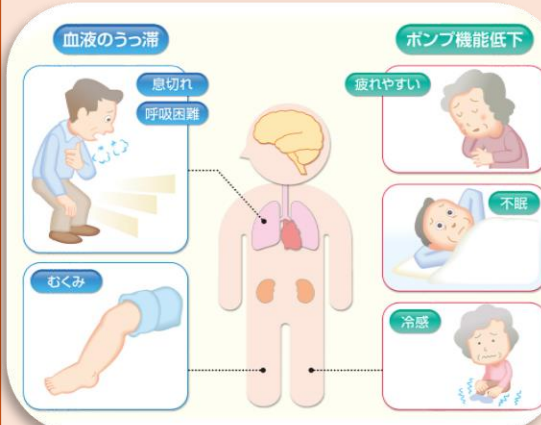
ステージ	A	B	C	D
生存率	97%	96%	75%	20%

心不全の重症度があがると生存率は下がる。
重症化した心不全の予後は「がんより悪い」といわれる。

心不全は4回予防できる



心不全の症状は？



症状があっても
「年のせいだから仕方ない」
「体力が落ちただけ」
と見過ごしていませんか？

放置したまま重症化する可能性も...
これまで普通にできていた動作ができなくなった、急に体重が増えた、動悸や息切れが増えたと感じたら心不全を疑って早めにかかりつけ医に相談しましょう。

注目!

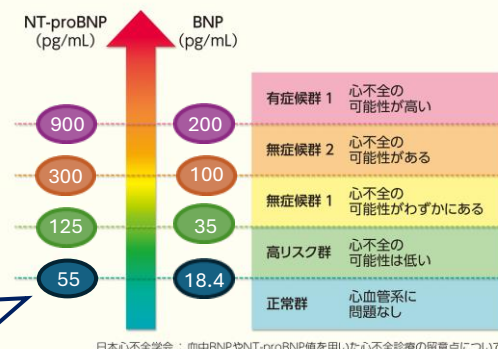
採血項目にプラスするだけ！

心電図に表れていない心不全の危険度を知る目安になります

NT-proBNP→心臓から分泌されるホルモンの一種

オプションで検査
することが可能です
(追加料金2,200円)

心臓の機能が低下して心臓への負担が大きくなるほど血液中に多く分泌され数値が高くなる



日本心不全学会：血中BNPやNT-proBNP値を用いた心不全診療の留意点について

注目!

食塩の過剰な摂取などが心疾患を引き起こすリスク要因！
食生活の見直しなどによってリスクを低減できます！

日本心臓財団ホームページに減塩レシピ(ハートレシピ)が掲載されています
今日から減塩対策を始めましょう！

